

好評スタート…住宅リフォーム助成事業

早期から申込者の列 初日だけで81件の申請

4月1日から受け付けの始まった住宅リフォーム助成制度は、大きな反響を呼び、初日には早朝から順番を待つ人の列ができました。

4月5日時点で112件。助成額2千万円の予算に対し、約4分の3に相当するとのこと。

リフォーム工事の内容は、下水道への接続や、屋根や外壁の塗装、クロスの張り替え、トイレや台所の改修等さまざま。

受け付け開始からわずか5日間で、予算の4分の3に匹敵する申し込みがあったということがあります。かには地元業者のみなさんや市民のみなさんに歓迎された事業であったかがわかります。

日本共産党議員団は、予算に不足が生じたとき

は補正予算を組むことを要求してきました。新しい議会でも追加予算を早急に組むよう求めています。

太陽光発電助成 58件の申し込み

同じく1日から受け付けの始まった住宅用太陽光発電の助成制度も75件600万円の予算に対し5日現在、58件423万円の申請を受け付けたとのこと。

太陽光発電助成は、個人の住宅について、1kwあたり2万

円で8万円、4kwを限度額として助成するものです。

地球温暖化対策としても自然エネルギーへの転換を進める貴重な制度です。

補助金の増額等制度の充実を進めていきます。

3議席確保へダッシュ！！

3月26日（土）文化会館で、森ケイ子 東よしき議員とかけのまち子さん3人揃って「市議選勝利のつどい」が開かれました。

なんとでも3議席を確保しようと意気込みあふれるつどいとなりました。

被災者救援募金2億6800万円を届ける。

日本共産党災害対策本部に届いた募金の中から福島、宮城、岩手の3県の知事に、それぞれ1000万円づつ3000万円を手渡しました。加えて被災した47市町村に2億3800万円が志位委員長をはじめ、国会議員等を通じて届けられました。また炊き出しなど被災者の救援にも使われます。

ご協力をお願いします。

募金は、森（57-2753） 東（54-7977）

かけの（53-7727）まで

尾北民商が 救援物資を募集

尾北民主商工会が東日本大震災の被災地に、現地民主商工会と連携して支援物資を送ろうとみなさんに協力を呼び掛けています。

支援物資は4月13日に小牧民商の車に積み込んで出発するそうです。

持ち込みの締め切りは
4月11日（月）
尾北民商まで

募集しているもの。

卓上コンロとガスボンベ 米
電池 下着・靴下等（新品）
ティッシュ、靴（スニーカー）

詳しいことは民商事務局にお問い合わせください。

電話 54-0524まで

巡回バスを走らせよう

いこまいCAR予約便の料金引き下げをの署名は、返信用封筒でも届いています。みなさんの協力で2000人を超えました。ずっと取り組んでいます。

